

2023(令和5)年度 第2回初任者 SD 研修「自分の大学を知ろう！」 開催報告

日 時： 2023(令和5)年 10月31日(火) 14:00～17:00
会 場： キャンパスポート大阪(大阪市北区梅田 1-2-2-400 大阪駅前第2ビル4階)
講 師： 佐藤 浩輔氏(研修部会推進委員会 委員、大阪体育大学 庶務部 学長室担当)
企画統括： 宮原 秀明氏(研修部会推進委員会 委員長、大阪学院大学 大学事務長)
企画コーディネータ： 清水 栄子氏(研修部会推進委員会 委員、追手門学院大学 共通教育機構／
教育支援センター 准教授)
葛西 崇文氏(研修部会推進委員会 副委員長、大阪女学院大学 教務・学生課 課長)
受講者数： 14大学27名
内容詳細： 大学コンソーシアム大阪 HP 掲載の「シラバス」参照
実施結果： 同上掲載の「受講者アンケート」参照
企画・運営： 大学コンソーシアム大阪 研修部会推進委員会

今年度の第2回初任者 SD 研修は、キャンパスポート大阪を会場に対面にて開催した。冒頭に葛西副委員長より、「本日は、他大学職員との交流等を通して所属大学を外側から眺め、楽しみながら学び、新たな気づきを得てほしい」との開会挨拶があった。

続けて佐藤講師より、本日のスケジュール、研修のねらいや到達目標について共有があり、「大学運営の高度化、教職協働の推進、大学職員の法規上の位置付けの変化等に伴い、特定分野の教育・研究支援を担う専門人材に加え、大学全体の政策を企画し、目的達成できる人材(大学運営を担う重要な構成員となる人材)が求められている。このことから、職員は資質能力の向上を図ることを常に意識する必要がある」との説明があった。



佐藤講師

本編開始前にはアイスブレイクとして心理テストを行い、グループ別に自己紹介と心理テスト結果や受講にあたっての意気込みの共有を行った。

その後の個人ワークでは、それぞれの所属大学のミッションや概要を整理したうえで、事前課題としていた“所属大学の強み・弱み”をテーマにSWOT分析を行った。続いてのグループワークでは、個人ワークで作成したワークシートに基づき、グループ内で発表・共有を行うことで、他大学について知り、所属大学について新たな気づきを得る機会とした。さらに全体共有として、各グループの

代表者により、グループワークの様子や出された意見について発表があり、これを通して所属大学についての俯瞰的視野の獲得を目指した。



まとめとして、佐藤講師より、「18歳人口の減少や技術革新、価値観の多様化等の影響により、世の中の変化は不可逆かつ不確実である。これからは、教職員が車の両輪となり、大学組織全体で学生を育てる時代だ。学生の成長に寄与しているという観点において、職員もまた教育者である。その誇りと自覚を持ち、日々の業務を“作業”ではなく大学を良くする“仕事”と捉え、大学運営の主體的なメンバーとな

り、改革の推進をリードしてほしい。このとき、大学全体を俯瞰することや、学内外の動向に精通しておくことが大切であることから、本日の研修がその一助になれば幸いである。またこうして他大学の職員と繋がることにより、各大学の弱みを連携によりカバーし、相互に発展していききっかけにできるかもしれない。大学職員が自ら考え、行動することで、それぞれの大学も“自ら考え動く大学”となるだろう」との言葉があった。

続けて、出席した研修部会推進委員より、受講者に向けて下記のメッセージが贈られた。

茅野 早希委員(追手門学院大学 総務部 人事課)

自らもそうだが、普段は業務に忙しい初任者にとって、このような研修は貴重な経験となることと思う。この機会を通じて、切磋琢磨しながらつきあっていけるような、良い仲間を見つけていただきたい。



茅野委員

滝口 雄貴委員(大阪医科薬科大学 人事部 人事管理課 主任)

他大学の状況を知ることは、所属大学を知るきっかけになる。大学業界は学生の減少等に伴い、厳しい局面を迎えている。大学の垣根を越えて交流していくことは重要であり、出合いをこの場で終わらせず、交流を続けていただきたい。



滝口委員

加藤 敦也委員(大阪産業大学 人事部 人事課)

本日のように基礎的内容を学ぶこと、所属大学を客観的に見ることは、なかなか得がたい機会である。他大学職員との交流は人生の $+ \alpha$ になるはずであり、様々な意見を聞き、成長する良い機会にしていきたい。



加藤委員

葛西副委員長

個人ワークを拝見し、所属大学の強みから書く人、弱みから書く人がいることに気付き、人はそれぞれ違うという認識を私自身が新たにした。同じように、皆さんも新たな発見があったのではないかと引き続き情報交換会で交流し、さらなる気づきを得ていただきたい。



葛西副委員長

最後に宮原委員長より、「受講者各位は、職員経験こそ浅いかもしれないが、これまでのバックグラウンドで培った得意なことがそれぞれあると思う。そこを生かしながら経験を積んでいただきたい。また経験を補うための知識は様々な手段で手に入れることができる。今後の職員生活を豊かにする知識を獲得するため、今後も大学コンソーシアム大阪を活用していただきたい」との閉会挨拶があった。



宮原委員長

研修本編の終了後には、受講者と講師、推進委員による情報交換会が開催され、交流が促進された。また、受講者には「受講証明書」が配付された。

以上